

-----2月10日-----

※ 今週のアウトルック (2/10~2/14)

先週は月曜日に円高が進みましたが、その後は幾分円安方向に持ち直しました。金曜日に発表された米国雇用統計の結果は、市場の予想を大きく下回るものですが、一時的な動きはあったにせよ、結果的には大きくリスクオフが進むような結果とはなっていないようです。

今週は、この結果に対する再評価的な動きがどの程度出るのか、また再び指摘され始めた米国デフォルトの可能性がどの程度影響を与えるのか注目したいところです。

先週ドル円は、一時的にせよ100円台まで下落しましたが、週末には102円台を回復して終了しています。

今週は、米国雇用統計の悪化や米国デフォルトの可能性の影響がどのように関わってくるのか、見解が分かれるところのように思います。

ただ、今週はまだそれほど大きな動きはないのではないかと考えています。

ドル円の予想レンジは101円から103円です。

ユーロは、ユーロドルのリバウンド傾向が強くなっています。

このまま1.37をクリアすることができれば、1.38程度までユーロ高が進む可能性が、高くなるように思います。

ユーロ円もこのまま140円台を回復することができれば、再び円安トレンドとなり、145円付近のレジスタンスラインに向かう可能性も出てくるように思います。

ユーロ円の予想レンジは137円から142円です。

ポンド円はこのまま169円台を回復できれば、小幅調整を終了し、再び円安トレンドを回復する可能性が出てくるように思います。

ポンド円の予想レンジは165円から171円です。

今週は米国デフォルトの可能性や、新興国の状況などがどの程度影響するのか、まずは週初の、NYダウの動きに注目したいところです。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。